

PRESS RELEASE

2021.11.18

公益財団法人ソニー音楽財団
(Sony Music Foundation)

ジュネーブ国際音楽コンクール チェロ部門 日本人初優勝の上野通明が出演決定！
チェロ協奏曲を受賞後日本初披露
「日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート New Year Concert 2022」1月8日開催

公益財団法人ソニー音楽財団(所在地：東京都千代田区、理事長：水野道訓、英文名称：Sony Music Foundation)は、2022年1月8日(土)、サントリーホールにて「第65回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート New Year Concert 2022」を開催いたします。今回は、ジュネーブ国際音楽コンクール チェロ部門で日本人初の優勝を果たした上野通明をソリストに迎え、コンクール優勝後日本初披露となる協奏曲を演奏いたします。



「日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート」は、HIV/AIDS問題をきっかけに大きく社会問題化された「献血」に対する認識をより一層高めるために、1990年にスタートしたチャリティ・コンサートです。収益の一部は献血運搬車の購入・整備に目的を限定して日本赤十字社に寄付されます。【2020年度(第64回)までの累計寄付金額：112,605,892円】

毎年恒例の当コンサート・シリーズは、クラシック音楽の王道曲・人気曲を、本格的な演奏で手頃な値段で楽しんでいただき、更に献血チャリティにも参加できるNew Year Concertとして人気を博しています。今回は、若手音楽家の登竜門として知られるジュネーブ国際音楽コンクールで日本人初の優勝を果たした期待のチェリスト、上野通明が登場します。前半はコンクール優勝後日本で初披露となるドヴォルザークの名曲「チェロ協奏曲」を演奏いたします。日本を代表する指揮者であり初共演となる広上淳一と東京都交響楽団とともに、その魅力を存分にご堪能ください。

後半は、映画やドラマでも度々使われている人気の作品、ベートーヴェンの交響曲第7番をお届けします。広上
淳一の軽やかな指揮のもと、心躍るリズムと疾走感あふれる音楽を東京都交響楽団が演奏いたします。
“クラシック音楽の殿堂”サントリーホールでの昼下がり、オーケストラの豊かで贅沢な時間をお楽しみくださ
い。なお、当公演は各種感染症対策を行い開催いたします。

【公演概要】

◆タイトル

第65回 日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート New Year Concert 2022

◆公演日時

2022年1月8日（土）14:00開演（13:00開場）

◆会場

サントリーホール 大ホール（東京都港区赤坂1-13-1）

◆発売日

先行発売：2021年11月22日（月）～11月30日（火）〔ソニー音楽財団・イープラス・チケットぴあのみ〕

一般発売：2021年12月1日（水）

◆チケット情報（全席指定・税込）

S席：6,000円／A席：4,500円／B席：3,000円／P席：2,000円

※P席はステージ後方の座席です／未就学児入場不可

◆出演

広上淳一（指揮）

上野通明（チェロ）*

東京都交響楽団（管弦楽）

※プロフィール：別資料

◆演奏予定曲

ドヴォルザーク：チェロ協奏曲*

ベートーヴェン：交響曲 第7番

※やむを得ない理由により、曲目・演奏者など公演内容が変更となる場合がございます。

※チケットご購入の前に、当財団ウェブサイト掲載の「ご来場される皆さまへの大切なお願い」を必ずお読みい
ただき、ご了承のうえご来場ください。

◆主催

公益財団法人ソニー音楽財団（Sony Music Foundation）

◆共催

公益財団法人東京都交響楽団

◆後援

日本赤十字社

◆チケット取扱い

- ・ソニー音楽財団オンラインチケット <https://www.smf.or.jp/>
- ・イープラス <https://eplus.jp/>
- ・チケットぴあ (Pコード：206-976) <https://t.pia.jp/>
- ・サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017 (休館日を除く10:00～18:00)
- ・都響ガイド <https://www.tmsso.or.jp/> 0570-056-057 (平日10:00～18:00)

◆お問い合わせ

公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation) 03-3515-5261 (平日10:00～18:00)

【財団概要】

名称：公益財団法人ソニー音楽財団 (Sony Music Foundation)

理事長：水野道訓

設立：1984年10月2日

所在地：〒102-8353 東京都千代田区六番町 4-5 SME 六番町ビル

URL：<https://www.smf.or.jp/>

日本赤十字社 献血チャリティ・コンサート New Year Concert 2022

2022年1月8日（土）サントリーホール 大ホール

【出演者プロフィール】

●広上 淳一（指揮）Junichi HIROKAMI, Conductor



東京生まれ。尾高惇忠にピアノと作曲を師事、音楽、音楽をすることを学ぶ。東京音楽大学指揮科卒業。26歳で第1回キリル・コンドラシン国際青年指揮者コンクールに優勝。以来、フランス国立管、ベルリン放響、コンセルトヘボウ管、モントリオール響、イスラエル・フィル、ロンドン響、ウィーン響などメジャー・オーケストラへの客演を展開。これまでノールショピング響、リンブルク響、ロイヤル・リヴァプール・フィル、コロンバス響のポストを歴任。近年では、ヴァンクーヴァー響、ボルティモア響、ライブツィヒ・ゲヴァントハウス管、ミラノ・ヴェルディ響、リール国立管、サンクトペテルブルク・フィル、バルセロナ響、モンテカルロ・フィル、サンパウロ響、ニュージーランド響等へ客演。国内では全国各地のオーケストラはもとより、サイトウ・キネン・オーケストラ、水戸室内管にもたびたび招かれ絶賛を博している。オペラの分野でもシドニー歌劇場へのデビュー以来、数々のプロダクションを指揮。

2003年、齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。現在、京都市交響楽団常任指揮者兼芸術顧問。2015年、同響とともにサントリー音楽賞受賞。2020年4月より京都コンサートホール館長も務める。2017年より札幌交響楽団友情客演指揮者。2021年9月より日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

2003年、齋藤秀雄メモリアル基金賞受賞。現在、京都市交響楽団常任指揮者兼芸術顧問。2015年、同響とともにサントリー音楽賞受賞。2020年4月より京都コンサートホール館長も務める。2017年より札幌交響楽団友情客演指揮者。2021年9月より日本フィルハーモニー交響楽団フレンド・オブ・JPO（芸術顧問）。また、東京音大指揮科教授として教育活動にも情熱を注いでいる。

●上野 通明（チェロ） Michiaki UENO, Cello



パラグアイに生まれ、幼少期をスペイン・バルセロナで過ごす。

2009年、若い音楽家のためのチャイコフスキー国際音楽コンクールに13歳で日本人初の優勝。翌2010年、ルーマニア国際音楽コンクール最年少第1位・ルーマニア大使館賞・ルーマニアラジオ文化局賞を併せて受賞。2014年、ヨハネス・ブラームス国際コンクール優勝。2021年、ジュネーヴ国際音楽コンクールチェロ部門日本人初の優勝・併せて3つの特別賞受賞。

ソリストとして、ワルシャワ国立フィルハーモニー管、スイス・ロマンダ管、ロシア響、ジリナ室内管、読売日響、新日本フィル、東京フィル、東響など、国内外のオーケストラと多数共演。また、ジャンギャン・ケラス、ダニエル・ゼベック、ホセ・ガジャルド、堤剛、諏訪内晶子、伊藤恵等、著名アーティストと共演し好評を博す。テレビ朝日「題名のない音楽会」、NHKBS「クラシック倶楽部」、NHKFM「リサイタル・ノヴァ」等に出演。

「宗次エンジェル基金」「江副記念リクルート財団」奨学生、岩谷時子音楽文化振興財団より「Foundation for Youth」「岩谷時子賞」奨励賞。「京都青山音楽賞」新人賞受賞。これまでに（故）馬場省一、イニアキ・エチェパレ、毛利伯郎各氏に、現在ピーター・ウィスペルウェイ、ゲーリー・ホフマン各氏に師事。更なる研鑽を積みながら、主にヨーロッパと日本で積極的な演奏活動を行っている。使用楽器は1758年製P. A. Testore（宗次コレクションより貸与）。

「宗次エンジェル基金」「江副記念リクルート財団」奨学生、岩谷時子音楽文化振興財団より「Foundation for Youth」「岩谷時子賞」奨励賞。「京都青山音楽賞」新人賞受賞。これまでに（故）馬場省一、イニアキ・エチェパレ、毛利伯郎各氏に、現在ピーター・ウィスペルウェイ、ゲーリー・ホフマン各氏に師事。更なる研鑽を積みながら、主にヨーロッパと日本で積極的な演奏活動を行っている。使用楽器は1758年製P. A. Testore（宗次コレクションより貸与）。

●東京都交響楽団（管弦楽） Tokyo Metropolitan Symphony Orchestra



東京オリンピックの記念文化事業として1965年東京都が設立（略称：都響）。現在、大野和士が音楽監督、アラン・ギルバートが首席客演指揮者、小泉和裕が終身名誉指揮者、エリアフ・インバルが桂冠指揮者を務めている。定期演奏会などを中心に、小中学生への音楽鑑賞教室（50回以上／年）、青少年への音楽普及プログラム、多摩・島しょ地域での出張演奏、ハンディキャップを持つ方のための「ふれあいコンサート」や福祉施設での訪問演奏のほか、2018年からは、誰もが音楽の楽しさを体感・表現できる“サラダ音楽祭”を開催するなど、多彩な活動を展開。CDリリースは、インバルによる『マーラー：交響曲全集』のほか、交響組曲『ドラゴンクエスト』（全シリーズ）や『Fate/Grand Order』などのゲーム音楽まで多岐にわたる。

「首都東京の音楽大使」たる役割を担い、これまで欧米やアジアで公演を成功させ、国際的な評価を得ている。2021年7月に開催された東京2020オリンピック競技大会開会式では、「オリンピック賛歌」の演奏（大野和士指揮／録音）を務めた。

公式WEBサイト <https://www.tmsso.or.jp/>